

#### 日程第4 一般質問

○議長（小林信） 日程第4 一般質問を行います。

質問の通告がありますので、発言を許します。4番 佐藤真二君。

（4番 佐藤真二議員 一般質問席登壇）

○4番（佐藤真二） では、一般質問を行います。小林村長になりましてから、初定例会での最初の質問ですので多少緊張はいたしておりますが始めます。

今回取り上げました質問は、私が議員になりましたから最初に前村長に一般質問しました杉風荘と観光物産の問題です。この2つの問題は議員になる以前より一般の村民として関心を寄せていた疑問でありましたので、前村長の中田村長にも同じ質問をしておりますが、今回、村長が新しく小林村長に代わりましたので再度質問いたします。

最初の質問ですが、杉風荘の民営化について3点ほどです。杉風荘の民営化については、前村長時代に議会と村で議論を重ね、お互い同意をしておりましたが、民営化の中身の議論不足ということで昨年の9月議会で提案されました杉風荘の廃止条例案が否決されて以来進んでおりません。

杉風荘の民営化については、杉風荘職員のみならず相手の名前が出ています社会福祉協議会の職員、そして両方に勤めています臨時職員、そしてその方々の家族の皆さんのが大変関心を持っています。特に臨時職員の方々からは相談を受けています。ここで細かいことは申しませんが大変不安を抱いていることは事実であります。

村としては、職員や臨時職員に丁寧に説明をしていると議会にも報告をいたしておりますが、当事者でなければ気づかない細かいこともたくさんあるかと思います。職員の皆さんには不安を抱きながら仕事をしていますので、職員のため、杉風荘、また村のためにも1日でも早く民営化するべきだと思います。

そこで、私の質問です。

一つ目は、相手先は社会福祉協議会と考えているのか。

二つ目は、民営化にするとすれば、今後の流れの計画はどうなっているのか。

三つ目は、社会福祉協議会とすれば、代表が村長になっていますが、それについて村長はどのように考えていますか。

この3点です。村長の答弁を求めます。

○議長（小林信） はい、村長。

（小林悦次村長 登壇）

○村長（小林悦次） 質問の内容につきましては、3点であります。

最初に杉風荘の民営化につきましては、平成27年4月1日から、村の上小阿仁村社会福祉協議会へ移管して民営化をスタートするというふうな予定で、議会への説明及び関係機関との協議を経て、昨年の9月定例会に特別養護老人ホ

ーム設置条例の廃止条例と、それから杉風荘基金条例の廃止条例を提案いたしましたけれども、ご理解が得られず否決となって現在にいたっております。

今後、これにつきましては、これまでの経緯と内容につきまして議会及び関係機関にご説明をし、協議をしてまいりたいというふうに考えております。

杉風荘の民営化の実施に向けて対応していきたいというふうに考えております。

2番目ですけれども、民営化に移行するためには職員の募集等もありますので、少なくとも9月定例会には、昨年と同様に特別養護老人ホーム設置条例の廃止条例等提出する必要があります。

これから副村長等の設置等、執行部体制を整いたうえで対応してまいりたいというふうに思っております。いずれ、再度、時間をかけて議会からもご意見を聞きながら、民営化に向けて取り組んでまいりたいというふうに思っております。

3番目になります。現在、村長が上小阿仁村社会福祉協議会の会長でありますけれども、会長は理事会で決定をされたものであります。議会からも村長が会長を兼ねることについては、いろいろ議論がありますというふうな内容のことを役員会の中でもお話をさせていただいておりますけれども、現時点では、社会福祉協議会の運営もありますので、理事会で会長を村長にと決まったものでありますので、お引き受けをしているというふうな状況であります。

以上であります。

○議長（小林信） 4番 佐藤真二君。

○4番（佐藤真二） 今の村長の答弁によりますと、まず相手先は社会福祉協議会と考えているというのはお聞きしました。それで9月定例議会までに、昨年と同様廃止条例を出したいということであれば、これから議会との協議会を何度も重ねるという話がありました。それも理解いたします。

私は最後に聞きたかったのは、社会福祉協議会の代表になっているのは、村長の考え方としてどう思っているのかということを聞きたかった。理事会で承認されて、理事会の中で進められたから致し方なくなりましたという答弁でしたが、村長個人としては、この社会福祉協議会の代表になることを、それが果たして本当の民営化になりうるだろうかという議論展開もありました。中田村長の答弁もある程度聞いています。新しい小林村長としては、村長の考え方としてどうでしょうかという考えを、私はここで聞きたいと思います。

もう一度、お答えをお願いします。

○議長（小林信） はい、村長。

（小林悦次村長 登壇）

○村長（小林悦次） 本来の上小阿仁村社会福祉協議会の運営等につきまして

は、上小阿仁村長が会長というふうな形では、好ましくないと考えております。しかしながら、現時点どの運営方法、それから今後の民営化に当たって、上小阿仁村社会福祉協議会が、それを担うというふうなことに当たって、当面の間やもえないことではないかなというふうに、役員会でのご意見等も聞きながら、そういうふうな判断をしております。

○議長（小林信） はい、4番 佐藤真二君。

○4番（佐藤真二） 今、村長の個人的な考えを述べさせていただきまして、その考えは分かりました。

私は、即、杉風荘の民営化、そして社会福祉協議会の代表である村長が、村が携わることで、果たして民営化になるだろうかというのをしつこく質問するのは、今、福祉施設関係が、この村にとって女性型の職場になっているからであります。社会福祉協議会、そして杉風荘。上小阿仁にありますショートステイこあに、そしてグループホームほおづき。この中で2つは民間の方々に経営していただいておりますが、この事業所に勤めている方々は殆ど村の方々です。この後も、杉風荘も社会福祉協議会も、また村の方々が勤めるかと思いますが、ここに村長が入って村の口が入っているものが、果たして民営化としてやっていけるのかということです。もっともっと、本来はまだ私が得た情報であれば上小阿仁にはもうひとつショートステイが、県としては認可できる。前回のショートステイを建てた時の方の情報でしたが、村としてではなくて、県としては認可ができるという話がありました。

昔は、女性型の職場は電気部品工場とか縫製工場でしたが、今は女性の働く場所、地元で働く場所は商店も少なくなり、スーパーも無くなり、どちらかと言いますとそういう福祉施設であります。やはり、もしできましたら、本来純然たる民営化にして、そして役場の意向の入らない、そういう組織にして地元の方をいくらでも雇用していただきたいと考えておりますので、ぜひとも、まず杉風荘の民営化を初め、そして社協の代表も必ずしも、村内の方でなくてもいいかと思います。やはりそういう団体、先ほど話したようにショートステイこあにとか、グループホームを経営している方は地元の人ではありません。ただし、社会福祉協議会は、いろいろ問題がありますが、地元の人に能力がなければ、やはり外から募集することも考え、そして雇用に対して村の考え方でなく、行政の考え方でなくして、民間の考え方方が入れる代表の方を設置していただきたいと思います。

村長の考えは。

○議長（小林信） はい、村長。

（小林悦次村長 登壇）

○村長（小林悦次） いろいろな考え方方がたくさんありますので、いろんな方々、

県、国のご意見、ご指導を得ながら村にとって対応が一番いい状況にしたいというふうなことで、今後ともそういうふうなご意見を参考にさせていただいて、議会の方にご相談をして、最終的に決めていただきたいというふうに考えております。

○議長（小林信） はい、4番 佐藤真二君。

○4番（佐藤真二） では、2つ目の質問に入ります。

次に、かみこあに観光物産株式会社の代表の質問であります。この質問も前村長時代にも同じ質問をしております。

小林村長は元の小林村長時代、産業課長として観光物産に携わってきた経験があります。また、道の駅、観光物産の立ち上げに携わってきたと聞いております。

今回、村長は選挙演説の中でも、また先ほどの行政報告の中でも我が村では、村が経営して携わって成功した例がないとまで言われていました。また元小林村長時代には改選で再選されたときには社長を降りると会議で話をされた時に、現在の小林村長が産業課長して同席されいたと記憶しております。

観光物産の26年度の決算は黒字と聞いていますが、今後、高速道路全面開通、高齢化、人口減少により交通量は減ると思います。道の駅は村の顔として、村にとって大変重要な位置にあります。そこを踏まえて、村長として、社長についていることをどのように考えているのでしょうか、伺います。

○議長（小林信） はい、村長。答弁を許します。

（小林悦次村長 登壇）

○村長（小林悦次） かみこあに観光物産の社長に、今現在、村長がなっております。これにつきましては、先ほど施政方針の中でもお話ししたとおり、商売については行政が係わって成功した事例がないというふうに聞いております。できれば民間でできることは民間で対応するべきものと思っております。

かみこあに観光物産株式会社につきましては、役員報酬を支給していないことや、村が100%出資の株式会社であります。そういうことから、役員会で村長が社長というふうなことになっているというふうに思っております。

今後は、会社が株式会社となっておりますので、役員、それから従業員の方々にも株式を買っていただいて運営をすると、責任をもって運営をしていくというふうな形でやれば、もっともっと民間対民間で競争力がつくというふうに考えておりますので、よろしくお願ひしたいというふうに思っています。

○議長（小林信） はい、4番 佐藤真二君。

○4番（佐藤真二） ただいま村長より大変素晴らしいアイデアの答弁をいただきました。現在の道の駅よりも少しでも民営化に近づくような民間の株式会社に近づくような方法を取っていただいて、そしてこの道の駅をもっともっと

活性化させていただき、上小阿仁村の顔として頑張っていただきたいと思います。

村長が社長をやることは決して悪いことではありませんが、時代の流れとして、やはりこれからもし村長が村の経営と、こういう道の駅、上小阿仁の顔として経済の看板になりうるような会社と、両方を経営していくかと思いませんので、できればそういう方法に進めていただきたいと思います。

私の意見を述べまして、これで終らせていただきたいと思います。

○議長（小林信） 一般質問の項目の時間でありますから、一般質問をここで一旦中断し、暫時休憩として午後1時20分再開といたします。

11時40分 休憩